

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		熱海ひかり				公表日	2024年10月9日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	必要であれば職員とともに別室でクールダウン出来るようにしている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	職員は募集等で充足してきております。	非常勤は元々人数が少ない為休んでしまうと大変になってしまう 学校が市外にある事もあり時間の差があるため苦慮している日がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	学習、遊びの場所を一目でわかるように配慮しています。	施設の構造がワンフロアの為、完全なすみわけが出来ないのでパーテーションで仕切っている。建物の構造上バリアフリーは難しいが現在利用している児童には問題なし	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		ワンフロアの為、職員の目は行き届きやすい。活動に合わせて空間作りを行い自由時間で運動遊びが出来るように時間を分けている	施設の改修は出来ないなので活動の時間を決めて行うようにしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		専門支援時、クールダウン、宿題等落ち着く時間が必要な場合は使用できるようにしている	職員の目が届かないこともあるので、個別の部屋へ行くことが困難な事もある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎月1回の職員会議で話し合いを行っています	全職員が参加できないので資料を確認してもらっている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	評価表の集計を全員で確認し業務につなげられるように改善点を話し合っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	業務前のミーティング等で職員の意見を聞き療育につなげるようにしている。	業務後だと時間が限られるので、連絡ノート等の利用をしていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		第三者の評価は行っておりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	施設研修は虐待、拘束、感染（年2回）防災、応急処置、各障害への対応方法、送迎、プログラムについての研修（年6回）行っています		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	月1回ひかりたより、年1回支援プログラム公表		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	3か月、6か月毎にモニタリング、アセスメントを行い個別支援計画書を作成しています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	月1回職員会議で職員でモニタリングを行い支援共有をしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	職員会議で共有しいつでも閲覧出来るようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	職員会議での研修で行っています。 日々のミーティングでも少ない時間ですが行うようにしています。	ミーティングで時間を設けて行えるといいが、送迎に時間がかかるため業務前後は難しい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員会議で意見を出し合い担当制で行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	各職員が人脈を駆使し様々なプログラムを提示	同じ内容のプログラムにならないように前回行った同じプログラムを職員を変えて行えるようにする	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個々に合わせて日々状況を見ながら行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援開始前に時間が短い打合せを行い内容、分担について確認し支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	送迎前の時間が短いので業務前後に行っています	支援前に前日の振り返りを行っている。時間的に支援後は難しい送り先が広いので時間的に難しい為職員共有するため連絡シートを使用している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	来所時のご様子は日報へ記録、業務前に確認、検証し支援内容を共有しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的なモニタリングを行い、修正見直しを計画内容に反映しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1	児童の状況に合わせて組み合わせで行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	複数の活動に分けて自己決定し参加出来るようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	熱海市療育連携会議へ状況の聞き取り内容を報告し共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	連携会議で状況を共有し支援を行うようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	ご利用時の下校時間、行事予定、送迎、トラブル時の対応等連絡して調整しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	児童発達支援事業所より情報共有していただいています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	相談支援員の方と支援内容を共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		スーパーバイザーとかかわる機会がない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	地域のイベントへの参加で交流することがある	個別（兄弟児など）はあるが全体としては無いのでは
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	毎月参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時やお電話等でお伝えしなければならぬ内容をお伝えしています。個別面談時でも行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	研修の機会は設けていませんが、情報提供は随時ご連絡をしております。	保護者交流の機会を設けるが参加がごく少数のみ保護者参加型のイベントは計画しているが研修は企画していないので参加イベントに合わせ計画してもよいのでは
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時に説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	個別面談前にこどもの意向を確認し、面談時に家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	個別面談時に説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	相談等があれば送迎時、お電話等で助言支援を行っています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	保護者会が無いがイベントの時などご家族も参加できるようアナウンスをしている、様子を見に来るご家族は少ない	保護者交流の機会を設けるが参加がごく少数のみ
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情があればすぐにご連絡し内容について確認し報告させていただきお話をして了承頂き苦情報告書を作成している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	SNSはフォローしているご家族も見てくれている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報に関する書類等は終業後施錠、写真をSNSに投稿する場合は分からないよう加工しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	障がいに合わせて意思疎通の仕方を工夫し情報伝達が出来るように行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		招待はあまりないがハロウィンイベントなどでこちらから出向く機会は設けている イベント、活動に地域のボランティアの方々に来ていただいている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	マニュアルは事業所で策定し閲覧できるようにし、訓練を行っております。	職員には周知し、ご家族へは契約時ご説明はさせていただきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	BCP策定しております。様々な状況を想定して避難訓練を実施しています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	契約時に確認しております。状況変化があればご連絡を頂いて確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		医師の指示書に基づく対応が必要な児童がない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		安全管理について毎回ミーティングで話し合い支援を行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	緊急連絡シートの記入をしていただき施設の非常袋へ常備している	周知が出来ていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎回ミーティングでヒヤリハットについて共有し報告書を作成している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	年2回研修を行い、ミーティングで共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	契約時に説明し承知いただいています。	現在適応児童なし	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	熱海ひかり		
○保護者評価実施期間	2024年9月15日		～ 2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2024年9月15日		～ 2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのかかわり</li> <li>地域の方の協力のもと様々な活動が行える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人とのつながりを駆使し情報を取り入れる</li> <li>地域の人との交流やイベントへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への情報発信</li> <li>事業所解放</li> <li>保護者参加型の行事を行う</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様な活動をボランティアの方に来ていただいてプロの体験が出来ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童とのかかわりの中から体験したいことを取り入れている</li> <li>児童だけでなく、活動を提案している職員が楽しく取り組んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が知り合いを通してボランティアへつなげている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の職員のスキルの高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々のスキルを療育へと取り入れ、日々の積み重ねで児童の成長につなげていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部研修や外部研修に参加し個々のスキル向上を図る</li> <li>職員間で療育方法を共有して全体で一致した療育を行う</li> </ul>

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地上戸外での活動が少ない</li> <li>療育内容がマンネリ化してきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は時間的な余裕がない為難しい</li> <li>児童が室内で過ごすことに慣れてしまい戸外への興味が薄い</li> <li>職員の入れ替わりが無く安定していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム内容の検討や時間の使い方など考え、戸外へ出る機会を作っていく</li> <li>他施設の療育等を各専門会議で共有しています。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性職員が多く男性目線の意見が取り込めない</li> <li>男性職員が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集はしているが男性職員増加にはなかなかつながらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他施設の様子に目を向け意見を求めたりし考えの違いを取り入れ検討していく</li> <li>ボランティアの方に来てもらい男性目線の療育を増やしていく</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者参加型のイベントはあるが保護者だけの交流する機会が無い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会の開催をしていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者のみ交流が出来る場を開催できるようアンケート調査で参加しやすい日程で検討していく</li> </ul>